

県政速報

民間的経営となり、企業会計を導入する下水道公社資産についての「なかしま一般質問」を受け戸田市に約 7 億円が返還



いつまでも住み続けたいくなる
夢と希望の溢れる埼玉県を創造！



子育て真っ最中の
埼玉県議会議員

なかしま 浩一

県政ニュース Vol.16

民主党・無所属の会 県政報告（戸田版）

H23 年度予算（1 兆 6,899 億）

“自立自尊の埼玉が日本再生をリード” 未来への投資、暮らしの安心・安全予算

人材への投資

留学の奨学金、海外研修費用支援等 *日本一の規模

＜時代を切り拓き世界に羽ばたくグローバル人材の育成＞

- 海外大学、大学院への留学（学位取得） 10 人
- 海外大学、大学院との協定に基づく交換留学 200 人
- 高校在学中の海外高校との交換留学や姉妹校留学 50 人
- 海外有名大学（ハーバード、MIT 等）への高校生の派遣 30 人
- 県内中小企業の若手社員の海外企業等の研修助成 20 人
- 県内大学生の県内企業海外現地法人インターンシップ助成 20 人

*財源としてグローバル人材育成基金設置（県出資金 10 億円）
県内企業や県民の方々もご寄付をお願いします

子どもを鍛える

- 小学校低学年からの学習習慣確立、土曜日活用補修学習
- 中学生の思考力育成のためのチャレンジ大会 2000 人対象
- 高校生の基礎学力定着のためのアドバイザーを配置
- 商品開発力、生産力、ものづくり力、サービス力、販売力を育成するための実践的職業教育推進
- 大学、NPO、市などが連携する子ども大学への助成

就業支援の強化、雇用のチャンス拡大

- 若年、中高年、女性の就業支援拠点を一体的に運営し、ワンストップサービスによる就業紹介で雇用拡大
- 県内大学でのセミナーや面接会で、県内企業とのマッチング支援
- しょうがい者雇用開拓員の配置、職場定着支援研究会新設

更なる市への権限委譲で市の自己決定権拡大

- ◆養護老人ホーム、特別養護老人ホームの設置認可
- ◆有料老人ホームの設置届出
- ◆社会福祉法人の定款の認可等
- ◆身体しょうがい者、知的しょうがい者相談員による相談指導
- ◆騒音規制の事務、自動車騒音の常時監視
- ◆廃棄物再生事業者の登録、電気工事業の登録 等々

成長への投資

中小企業の次世代産業参入支援

＜新分野参入の中小企業支援で強い雇用の確保＞

- ・新技術、新製品開発に対する助成の拡充（上限 300 万、次世代自動車やエコ住宅など産業の裾野が広い分野は上限 1000 万）
- ・次世代自動車支援センター埼玉を設置し企業の転換・参入支援
- ・企業成長サポート資金の創設（融資枠 200 億、年利 1.8% 以内）環境、エネルギー、医療・介護・健康関連分野などへの進出を後押し
- ・他に融資枠 3800 億、借換え資金 1000 億へ拡大し企業支援

埼玉ブランド力の向上

ゆとりの田園空間の創出 *埼玉県は川の面積日本一

- ・清流の復活のための水辺再生 100 プランとして 43 ヶ所整備 27 億
- ・生活排水処理の水質改善のため、合併処理浄化槽への転換に取り組む市町村へ大幅に助成を拡大 4 億 1 千万
- ・身近な緑の創出：小中学校 20 施設、保育園・幼稚園 100 件（上限 600 万、全額補助）、学校の森づくり 3 校（上限 6000 万、1/2 補助）

埼玉版グリーンニューディールの推進 *埼玉県は快晴日数日本一

- ・太陽光発電助成（既存住宅 6100 件、上限 14 万）、市民共同発電（市民団体等 2 件、上限 100 万、1/2 補助）
- ・エコキュート、エネファーム、LED 照明、屋上緑化など住宅省エネ対策を 2 種類以上講じた場合（300 件、上限 25 万）
- ・CO₂ 削減設備導入助成（大規模事業所 11 件、中小企業 15 件）

新たな魅力発信 *埼玉県は自転車保有率日本一

- ・ぐるっと埼玉サイクルネットワークみどころ 100 の推進、群馬から東京ディズニーランドまでの総延長 170Km 利根川・江戸川自転車道整備
- ・野菜日本一づくり「枝豆、ホウレンソウ、ネギ」の生産拡大と販売促進

川岸、オルガノ(株)旧総合研究所の土壤汚染

環境基準を超える鉛、砒素が確認されたため、事業者適切に管理するように指導。
周辺に飲用に使用している井戸はありません！

発行：民主党・無所属の会
〈戸田支部〉
「県民何でも相談室」

戸田市下前 1-15-13
（中央通り、ベルクス斜め向え、交番ならび）
TEL：048-235-0215（FAX 同）
e-mail：minshu_toda@xj8.so-net.ne.jp
http://kengi.nakashima-kouichi.com/

お気軽に はこちらから出向いて相談に応じます。
ご依頼下さい！ 県民のみなさんの声をお寄せください。



モバイルサイト
開設しました！見てください。

四方山話し……

世界の面白条例など



◆笑顔条例「アイダホ州ポカテロ市」

「ポカテロ市民は常に笑顔でいなければ罰せられる」（実際の条文は「不機嫌な顔をしているものを罰する」という内容の条例は、1948 年、冬の寒い時期に町を歩く人の顔がひきつっていたのを見た市長が冗談半分で市議会に提案したものが、成立してしまった。

笑う習慣を作るため毎年「笑顔週間」をつくる（第 2 条）、笑顔チェック省を新設して、笑わない人を逮捕する特別官を置く（第 3 条）、条例に違反すると「笑顔づくり講習会」に出席させられる（第 4 条）の 4 条からなる。逮捕者は出ていないが、一番笑顔の素敵な人を選ぶ「スマイリング・ポカテロコンテスト」が開催

◆体重 200 ポンド以上の女性はショートパンツで馬に乗ってはいけない

「イリノイ州ガーニー地区」

◆50 歳以上の女性が道路で 20 歳以上の既婚男性と話すことを禁じる

「サウスダコラ州法」

◆教会でおならをした場合、終身刑に処す

「ミズーリ州セントルイス地区条例」

プロフィール

- 1961 年 富山県出身
- 1980 年 県立富山高校卒業
- 1984 年 慶應義塾大学卒業
- 2002 年 戸田市議会議員（2 期）

現職

- 県土都市整備常任委員 公社事業対策特別委員
- エコライフ DAY とだ実行委員 NPO「まち研究工房」
- NPO「IT ボランティアの会」 戸田第二小学校 PTA 会長
- 戸田シティ子ども会会長 NPO「地域政策イノベーションフォーラム」

もっと安心・安全な社会の実現

発達しょうがい児・者支援プロジェクト

- ＜早期発見から診療・療育まで包括的に取組む＞ 1 億 88 百万
- ・発達支援マネージャー（市町村や保育所・幼稚園等の支援リーダー）、サポーター育成
 - ・療育を担うセラピスト 200 人の育成
 - ・発達しょうがいの子どもを持つ親の経験を活かし、相談・助言を行うペアレントメンター
 - ・早期発見のため、臨床心理士、作業療法士、言語聴覚士などからなる専門家チームを子育て支援センター、保育所、幼稚園へ派遣
 - ・中核発達支援センターを 2 ヶ所整備し、医師 1 人、看護師 1 人を新たに配置

学校教育期の安心保障

- ・重症心身しょうがい児施設の整備、入所 41 人、短期入所 3 人
 - ・児童虐待防止で、警察官 OB 1 人配置、虐待相談対応職員 28 人配置し相談体制強化、児童相談所職員 OB を市町村に派遣し相談の中心となるケースワーカー養成、通告義務の周知、オレンジリボンキャンペーン推進 5 億 22 百万
 - ・幼稚園の家計急変世帯への補助を 23 万 8 千円に増額、就園奨励金と合わせ保育料全額を補助
 - ・私立学校授業料実質無償化の継続
- 家計急変世帯や生活保護世帯は全額補助、年収 500 万未満の世帯に 36 万円補助、609 万未満世帯に 24 万円補助

医療体制の整備

- ＜安心できるお産と小児救急医療＞
- ・NICU（小児集中治療室）30 床、GCU（継続保育室）30 床、母体胎児集中治療室 15 床増床しハイリスク妊産婦や新生児の受入れ体制強化、助産師外来の開設促進
 - ・24 時間 365 日の小児二次救急医療提供（土屋小児病院、久喜市）
 - ・小児救命救急体制整備で、埼玉医大総合医療センターに本県初の PICU2 床整備

医療人材の確保

- ・地域枠医学生 15 人、産科・小児科・救急医を目指す臨床研修医 25 人、救急科後期研修医 10 人、産科・小児科後期研修医 35 人がそれぞれ大学卒業後、県内の医療機関で貸与期間の 1.5 倍勤務した場合奨学金（研修資金）返済免除 1 億 8 千万

警察機能の強化

- ・警察官 79 人（全国 3 位）、交番相談員 10 人、スクール・サポーター 3 人の増員
- ・暴力団排除：公共事業や不動産の取引を含め、県民や事業者からの資金、利益供与の禁止、学校 200m 以内の事業所開設禁止、違反は罰則や懲役

ワクチン接種基金設置による助成

- ・子宮頸がんワクチン（中 1～高 1 の女子、3 回接種、県内対象者約 13 万人）、ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン（4 歳までの乳幼児、4 回接種、同約 31 万人）に 1/2 助成

しょうがい者支援計画	H22 予定	H23 目標
訪問系（居宅介護、行動援護等）	139,300 時間	149,702 時間
日中活動系（生活介護、自立訓練等）	238,158 人日他	302,207 人日他
グループホーム、ケアホーム、ナイトケア等	5,648 人	7,353 人
生活用具給付、コミュニケーション支援等	11,652 件他	17,442 件他

埼玉モデル共助社会構築

地域で育てる子育て

- ・待機児童対策として、保育所、認定子ども園 2840 人、認可保育所移行 160 人、幼稚園の預かり保育 100 人、企業内保育所 320 人、特定保育 100 人、家庭保育室 880 人、保育ママ 100 人で過去最大の 4500 人の受入枠拡大 51 億 84 百万
- ・県営公園内に子育て支援コンビニを誘致、赤ちゃんの駅、子育て関連商品の販売
- ・子育て応援マンション認定制度創設（子育て支援サービス提供、住居内共用部分の子育て仕様）
- ・父親の育児推進「イクメンへの道」事業：一人で子育てできる父親の育成推進

地域支えあいの仕組みづくり

- 5 億 89 百万
- ・ひとりぐらし高齢者やしょうがい者など地域で孤立しやすい方を見守る体制構築（支えあいマップ、安否確認サインの活用等）、見守り活動拠点や交流の場などを整備する市町村に補助
 - ・高齢者住宅生活支援強化のため、訪問介護事業所共同のコールセンター設置し、利用者や家族からの相談に対応

子育て応援計画	H20	H22 見込	H23 見込	H26 目標
保育所受入枠	77,220 人	82,561 人	85,561 人	86,630 人
放課後児童クラブ	882 ヶ所	995 ヶ所	1,036 ヶ所	1,038 ヶ所
地域子育て支援センター	270 ヶ所	392 ヶ所	420 ヶ所	451 ヶ所

高齢者支援計画	H20	H22 予定	H23 目標
特別養護老人ホーム	20,299 人	22,320 人	22,928 人
介護老人保健施設	14,181 人	15,008 人	17,242 人
グループホーム	5,485 人 (H21)	5,827 人	6,030 人 (見込)
高齢者虐待対応専門員	369 人	590 人	600 人

H23 年戸田市関連事業

- ・新曽川口線（オリンピック道路）…都市計画道路の見直しもあり、喜沢南から国道 17 号を経てから戸田公園駅にかけて両側歩道の拡幅とバリアフリー化。H23 は 260m 区間。
- ＊なかしまの毎年の予算要望が H24 に漸く完成
- ・北戸田駅東口再開発ビル…地上 29 階地下 1 階、1・2 階は店舗、3 階以上は 220 戸程度の住宅、市の出張機関や業務系、SOHO 施設などは入らない予定。H23 基礎工事着工、H25/8 供用開始予定。総事業費約 85 億円、国 1/3、県 1/9、市 2/9、再開発準備組合 1/3 負担。地権者の不同意もあり 5 年程度の計画遅れ
- ・笹目川…北戸田駅近辺護岸改修 950m、排水機場ポンプリニューアル（H22～H24）
- ・浸水対策もあり辺島橋架替え…H21～継続、H23 仮設道路（橋）設置、H24 橋の本体工事
- ・美女木 2 丁目交差点付近側溝撤去新設：交差点～南側県道 700m、～東側県道 300m
- ・県立戸田公園…競艇場横スーパー堤防トンネル上部広場整備（盛り土に亀裂が見つかり、国交省で補充工事、県の広場整備は H24 に延期されたため、供用開始も H24 以降）
- ・荒川水循環センター（笹目 7 丁目）…焼却炉、雨水沈殿池高度処理、水処理設備改築など
- ＊上部利用は H22.7 月から広場の供用開始、H27 に現状の 2 倍程度の大きさで上部利用へ
- ・水ビジネス海外進出拠点を笹目の荒川水循環センターに整備、下水道技術を戸田に結集
- ・市内信号機（氷川町わか松食堂前、北戸田駅西口）
- ・美女木東、国際興業車庫前の歩道整備 60 m
- ・オリンピック道路、笹目川にかかる沼口橋の塗り替え（30 m）